

3 検討経過

年 月 日	概 要
平成 23 年 6 月 7 日	第 1 回会議 議 題 ・療育福祉センターの医療機能のあり方の検討について ・在宅重症心身障害児(者)の現状について
6 月 24 日	第 2 回会議 議 題 ・在宅重症心身障害児(者)のニーズについて ・療育福祉センターの医療機能の論点整理
7 月 13 日	第 3 回会議 議 題 ・障害児支援施策の見直しについて ・関係医療機関等との役割分担
7 月 28 日	第 4 回会議 議 題 ・医療部門(小児科・整形外科)専門委員会のまとめについて

県立療育福祉センター及び中央児童相談所の今後のあり方を考える会
医療部門(小児科・整形外科)専門委員会運営要綱

(目的)

第1条 この要綱は、県立療育福祉センター及び中央児童相談所の今後のあり方を考える会設置要綱(平成22年1月25日施行、以下「要綱」という。)第5条第4項の規定により設置する専門委員会(以下「専門委員会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(検討事項)

第2条 専門委員会は次の事項について検討を行うこととする。

- 1 重症心身障害児(者)に対する療育福祉センターの医療機能のあり方
- 2 その他、上記に付随する必要な事項に関する事

(委員)

第3条 委員は、会長の委嘱する10名以内の委員で構成する。

(座長及び副座長)

第4条 専門委員会に座長及び副座長を置く。

- 2 座長は、委員の互選により選任し、副座長は座長の指名により選任する。
- 3 座長は、会務を総理する。
- 4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 専門委員会は、座長が招集する。

- 2 座長は、必要に応じてその他委員以外の者の出席を求めることができる。

(報告)

第6条 専門委員会は、審議、検討した結果を「県立療育福祉センター及び中央児童相談所の今後のあり方を考える会」に報告しなければならない。

(任期)

第7条 委員の任期は、委嘱されたときから本会の目的が達成されたときまでとする。

(庶務)

第8条 専門委員会の庶務は、地域福祉部障害保健福祉課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、専門委員会の組織及び運営に関する必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月26日から施行する。

「県立療育福祉センター及び中央児童相談所の今後のあり方を考える会」
医療部門(小児科・整形外科)専門委員会委員名簿

(五十音順)

氏 名	役 職 等
阿部 孝典	高知赤十字病院 小児科部長
吉川 清志	高知医療センター 総合周産期母子医療センター長
◎ 小谷 治子	県立療育福祉センター 副センター長
武市 知己	独立行政法人国立病院機構 高知病院 医長
竹村 淳	重症心身障害児施設 土佐希望の家 コーディネーター
畠中 雄平	県立療育福祉センター 副センター長 (総括)
細川 卓利	高知大学医学部医学科 講師
松本 務	あおぞら診療所高知潮江 副所長
山川 晴吾	特定医療法人仁生会 細木病院 リハビリ・整形外科部長

※◎は座長